2027年度

高知大学大学院 総合人間自然科学研究科

理工学専攻(修士課程)

学生募集要項

(推薦特別選抜第２次募集)

※情報科学・データサイエンス・DX教育プログラムのみの募集です。

高　知　大　学

目　　次

アドミッション・ポリシー（入学者受入方針） …… 1
沿革 …… 1

[推薦特別選抜第２次募集]

１　募集人員 …… 2
２　出願資格 …… 2
３　出願手続 …… 2
４　選抜方法 …… 3

[合格者発表・入学手続等]

１　合格者発表 …… 5
２　入学手続等 …… 5

[その他]

１　障害等のある者の出願 …… 6
２　奨学金 …… 8
３　その他 …… 8

プログラムの研究内容の概要 …… 9
授業科目表 …… 10
修了要件及び学位 …… 11
長期履修学生制度について …… 11
社会人に対する授業時間等の特例 …… 11
教育職員免許状 …… 11
教員免許取得を必要とする科目等履修生に対する特例措置について …… 12
試験場案内 …… 13
高知大学朝倉キャンパス平面図 …… 14

【添付書類】

○入学願書　　○受験票・写真票・入学検定料払込証明書・座席票
○住所票　○志望調書　　○推薦書　　○入学確約書　　○志願確認書
○検定料払込票記入例　　○提出書類郵送あて名書き用紙

アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

理工学専攻では、以下のような学生を受け入れて、教育研究を行います。
本専攻では、入学者がカリキュラム・ポリシーに基づいて修学し、ディプロマ・ポリシーに定める能力を修得することを目指します。また、社会的・地域的課題と自身の研究との関わりを意識し、異なる分野の専門家と協働して課題に挑む姿勢を有する人材を歓迎します。

理工学専攻

【知識・技能】
・理学・理工学を学ぶにあたって必要となる「数学」「理科」「英語」の基礎的事項に関して、大学卒業程度の知識を有している。
【思考・判断】
・物事の考え方や判断基準を科学的・論理的に捉えることができる。
【関心・意欲・態度】
・数理科学・自然法則、生物科学、情報科学、化学・生命現象、自然災害現象のいずれかの分野に対して好奇心と探求心を持ち、課題に意欲的に取り組める。
・自然法則や応用的な科学を主体的に学び、科学倫理を持って、社会の維持・発展に貢献したいという意欲を有している。
【技能・表現】
・データの収集や整理を行い、課題に対して科学的に、適切に表現できる。

また、上記の理工学専攻共通のアドミッション・ポリシーに加えて、プログラムのアドミッション・ポリシーを以下のとおり示します。

情報科学・データサイエンス・DX 教育プログラム

【知識・理解】
・データサイエンス、情報科学・情報工学、または、それらを応用可能な理学・工学分野に関する学士レベルの学力と研究分野における知識を備えている。
【思考・判断】
・データサイエンス、情報科学・情報工学、または、それらを応用可能な理学・工学分野の研究に進むにあたって、客観的かつ合理的な思考を身に付けている。
【関心・意欲・態度】
・データサイエンス、情報科学・情報工学、または、それらを応用可能な理学・工学分野の中に学問的関心領域を持ち、強い研究意欲を持っている。
・学術研究に対する真摯な姿勢を身に付け、得られた成果を高度情報社会に還元しようという意欲を持っている。
【技能・表現】
・データサイエンス、情報科学・情報工学、または、それらを応用可能な理学・工学分野に関する自身の学習の成果と今後の学習・研究計画について、分かりやすくかつ正確に説明ができる。
【入学者選抜方法と評価する能力】
推薦特別選抜

選抜方法	評価する能力			
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現
書類審査	◎	◎	○	○
面接			◎	○

沿　革

昭和60年４月　高知大学大学院理学研究科（修士課程）（数学専攻、物理学専攻、化学専攻、生物学専攻、地学専攻：入学定員各専攻３人）を設置
平成６年４月　情報科学専攻（入学定員８人）を設置・昼夜開講制及び社会人特別選抜を開始
平成７年４月　入学定員を数学専攻８人（社会人２人を含む）、物理学専攻８人（社会人２人を含む）、化学専攻８人（社会人２人を含む）、生物学専攻10人（社会人２人を含む）、地学専攻10人（社会人２人を含む）に増員
平成13年４月　地学専攻の入学定員を12人（社会人２人を含む）に増員
平成14年４月　修士課程を博士前期課程に改組し、数理情報科学専攻20人（社会人を含む）、物質科学専攻26人（社会人を含む）、自然環境科学専攻27人（社会人を含む）に入学定員を変更
平成15年４月　自然環境科学専攻の入学定員を29人（社会人を含む）に増員
平成20年４月　総合人間自然科学研究科理学専攻（理学コース、応用理学コース）に改組
令和２年４月　総合人間自然科学研究科理工学専攻（数学物理学コース、生物科学コース、情報科学コース、化学生命理工学コース、地球環境防災学コース）に改組
令和７年４月　情報科学コースに代わり情報科学・データサイエンス・DX教育プログラムを設置・理工学専攻の入学定員を60名に増員

［推薦特別選抜第２次募集］

１　募集人員

プログラム	募 集 人 員
情報科学・データサイエンス・DX教育	10人

※10名増員分

２　出願資格

次の（１）～（４）に該当する者

（１）　次のいずれかに該当する者

①　大学を卒業した者及び2027年３月までに卒業見込みの者

②　学校教育法第104条第７項の規定により独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び2027年３月までに授与される見込みの者

（２）　学業等成績が優秀で人物・健康状態ともに良好である者

（３）　学校長、学部長、学科長等の役職者が責任を持って推薦できる者

（４）　合格した場合、入学することが確約できる者

３　出願手続

（１）出願期間

2026年10月26日(月)から10月28日(水)８時30分～17時≪必着≫

出願期間最終日の17時必着としますので、郵送（特定記録・速達郵便）する場合は、郵便事情を十分考慮のうえ、余裕をもって送付してください。なお、出願期間前に到着したものは、受付初日に処理します。

（２）出願方法

次の(３)に掲げる出願書類等を一括とりそろえ、角形２号の封筒に入れ、**本要項添付の「提出書類郵送あて名書き用紙」に必要事項を記入のうえ、これを封筒に全面のり付けして特定記録・速達郵便**で、所定の期間内に提出してください。**なお、本人が持参する場合も、必ず上記のように封筒を作成してください。**

＜出願書類提出先＞　〒780-8520　高知市曙町二丁目５番１号
高知大学学務部入試課大学院担当（電話 088-844-8154）

（３）出願書類等

●情報科学・データサイエンス・DX教育プログラム

①	入学願書	受験生サイトよりダウンロードして作成。
②	受験票、写真票、入学検定料払込証明書、座席票	受験生サイトよりダウンロードして作成。 ・それぞれを切り離さないで提出すること。 ・写真票には出願前３か月以内に撮影した写真(縦４㎝×横３㎝、正面、上半身、無帽)を貼付すること。
③	住所票	受験生サイトよりダウンロードして作成。
④	最終学校の卒業(修了)(見込み)証明書	「出願資格(１)②」の該当者は提出不要。
⑤	志願確認書	受験生サイトよりダウンロードして作成。
⑥	学業成績証明書	出身大学又は最終学校の学長(学部長)等が作成し、厳封したもの。
⑦	志望調書	受験生サイトよりダウンロードし、研究課題等について本人が作成したもの。
⑧	推薦書	受験生サイトよりダウンロードし、出身学校の学校長、学部長、学科長等の役職者が作成したもの。
⑨	入学確約書	受験生サイトよりダウンロードして作成。

⑩	**入学検定料30,000円**	郵便局・ゆうちょ銀行で郵便局所定の用紙を使用し、以下の口座に払込み、②の「入学検定料払込証明書」に「振替払込請求書兼受領証」(郵便局・ゆうちょ銀行で受付局日附印を押印してもらったもの)のコピーを貼付して提出すること。 **(納入した入学検定料は、出願受付後においてはいかなる理由があっても返還しません。)** **受取人口座名義:高知大学** **指定金融機関　:ゆうちょ銀行　振替口座** **口座記号番号　01610−5−129391** **※通信欄に出願専攻名と出願者氏名を記載してください。** **※振り込みに要する手数料は、志願者のご負担となります。** **※振替払込請求書兼受領証の原本は本人控えとして保管ください。**
⑪	**受験票送付用封筒**	表に住所・氏名を記入し、410円分の切手を貼付した長形3号(23.5cm×12cm)の封筒を同封すること。(出願受付後、受験票の送付に使用します。)
＜その他の必要書類＞ 1．日本に在住する外国人にあっては、市町村役場等が発行し、国籍、在留資格、期間が記載された住民票の写し（個人番号（マイナンバー）の記載がないもの）を上記書類に加え提出してください。 2．出願資格(1)②による学士の学位を授与された者は「学位記」の写し又は学位授与証明書を提出してください。なお、見込みの者は当該「修了見込み証明書」及び「学士の学位授与申請(予定)証明書」(様式随意)を提出してください。		

注意：**出願前に希望する研究室の教員と相談**し、**志願確認書**に**受入教員が署名**したものを出願時に提出してください。

（4）**出願書類提出上の注意**

① 出願書類のうち一つでも不備のある場合には、出願書類を受け付けません。
② 出願書類の受付後は、書類の返還及び記載事項の変更を認めません。
③ **提出書類のうち外国語によるものは日本語の訳文を添付してください。**
④ 入学後においても、提出書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合には、入学を取り消します。
⑤ 出願書類の受付後は、検定料及び出願書類はいかなる理由があっても返還しません。
⑥ **出願に先立って、希望する領域の教員と入学後の研究内容に関して必ず相談してください。**

4　選抜方法

入学者の選抜は、面接と学業成績証明書、志望調書を総合して判定します。

（1）学力検査日程等

2026年11月17日(火)

試　験　時　間	13時30分～
選　抜　方　法	書類審査・面　接 (配点：書類審査200・面接100)

（2）**受験上の注意事項**

① **当日は、13時までに所定の集合場所へ集合してください。**
② 課している検査等を全て受験しないと合格者となりません。
③ 検査等が終了するまでは退室できません。
④ 試験開始後の入室・受験は認められません。
⑤ 試験期間中は、受験票を必ず携帯してください。
⑥ 携帯電話等の音の出る電子機器類は、電源を切ってかばん等に入れ、身につけないでください。
⑦ 追試験は実施しませんので、天候等により交通機関に影響が予想される場合は早めに移動してください。
⑧ 監督者等の指示に従わないとき、又は不正行為をしたとき、若しくはしようとしたときは、失格とします。

不正行為を行った場合は警察に被害届を出す場合があります。

（3）**試験場 及び 集合場所**

試験場：高知大学理工学部（高知市曙町二丁目５番１号）

集合場所・注意事項については当日、「案内図」で確認してください。

（「案内図」の設置個所は高知大学朝倉キャンパス平面図（P. 14）を参照してください。）

［合格者発表・入学手続等］

1　合格者発表

（1）**2026年12月1日(火)**に、合格者本人あて(住所票に記載された場所)に合格通知書を特定封筒郵便（レターパックライト）で発送します。

（2）ホームページ上でも合格者発表を行いますが、情報提供サービスの一環として行うものです。必ず合格通知書をもって確認してください。（　高知大学受験生サイト　https://nyusi.kochi-u.ac.jp/　）

（3）電話等による問い合わせには一切応じません。

2　入学手続等

入学に際し必要な書類を、１月下旬に発送を予定しています。

（1）**手続期間**

2027年３月３日(水)８時30分から３月５日(金)17時《必着》

手続場所は高知大学学務部入試課を予定しています。

（2）**入学手続書類**

① 宣誓書（本専攻所定の様式）
② 学資負担者届（本専攻所定の様式）
③ 住民票記載事項証明書（本専攻所定の様式）
④ 身上調書（本専攻所定の様式、縦４㎝×横３㎝の写真を貼付）
⑤ 学生証交付願（本専攻所定の様式、縦４㎝×横３㎝の写真を貼付）
⑥ 同意確認書（本専攻所定の様式）
⑦ 最終学校の卒業（修了）証明書（高知大学卒業生は不要）又は在学期間証明書（既に提出の場合は不要）
⑧-1 安全保障輸出管理に関する誓約書
⑧-2 外国為替及び外国貿易法第25条第1項及び第2項の遵守のための特定類型該当性に関する誓約書

（3）**入学料及び授業料**

入学料　　282,000円

○ 注意事項

1）入学料は、入学手続時に納付してください。
授業料は、第１学期分は５月中、第２学期分は11月中に本学指定の金融機関からの口座引き落としとなります。
第１学期分　267,900円　　第２学期分　267,900円　（年額　535,800円）

2）**入学料の免除又は徴収猶予**を希望する者は、合格者に送付する入学者の手引に従って手続きを行ってください。なお、授業料についても免除制度及び徴収猶予制度があります。**入学料・授業料の納付後は、免除等申請ができません。**
＜問い合わせ先＞高知大学学務部学生支援課経済支援係（電話 088-844-8146）

3）納入した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

4）入学料免除及び徴収猶予の申請者が、本学の入学手続きを完了した後に入学を辞退する場合は、ただちに入学料を納付しなければなりません。

5）入学料及び授業料について改定が行われた場合には、改定時から新入学料及び新授業料が適用されます。

［ そ の 他 ］

1　障害等のある者の出願

障害等のある入学志願者で、受験上の配慮及び修学上の支援を必要とする場合は、出願に先立ち、以下の方法により本学と事前相談を行うことが可能です。なお、相談内容によっては、対応に時間を要する場合や対応できない場合もありますので、出願前のできるだけ早い時期に相談してください。

修学支援の方法や内容は、障害の種類や修学環境等によって異なってきますが、少なくともどのような支援が必要になるかを把握しておくことで、入学後の対応をスムーズに進めることができます。本学では、障害学生の修学支援対応の準備時間はできるだけ多くあった方がよいとの観点から、出願前のできるだけ早い時期に、修学上の支援についてもご相談いただくことを推奨しています。

（1）事前相談の時期

2026年10月20日(火)まで

※　上記期限以降に理由が生じた場合や、受験後に修学上の支援について相談したいなどの場合には期限以降でもご相談ください。

（2）事前相談の方法

受験上の配慮・修学上の支援に関する事前相談の手順は、以下の①～⑤に従って進めてください。

※　日常生活において、補聴器、松葉杖、車椅子等を使用している場合についても、試験における配慮の必要上、必ず事前相談してください。

①　電話もしくはメールによる相談

具体的に本学の受験を考える前の段階でも、受験上の配慮については（3）①の連絡先で、修学上の支援については（3）②に記載のインクルージョン支援推進室で、随時、電話・メール等による相談を受け付けています。

②　「受験上の配慮・修学上の支援に関する申請書」等の必要書類について

障害等のある入学志願者で、受験上の配慮を必要とする場合や、入学後、修学上の支援を希望する場合は、①による相談の上、本学で対応可能な措置や申請にあたり、以下の書類を準備してください。

・本学所定の「受験上の配慮・修学上の支援に関する申請書」
・医師の診断書（可能な限り発行後３か月以内のもの）
・身体障害者手帳の写し（取得者のみ）

上記必要書類一式を、「（1）事前相談の時期」までのできるだけ早い時期までに取り揃え、（3）①の連絡先まで提出してください。

※本学所定の様式は、高知大学受験生サイト(https://nyusi.kochi-u.ac.jp/daigakuin/hairyo)より、ダウンロードおよび印刷してご使用ください。（重複した障害や様式に明確にあてはまらない障害のある方は、障害等の状況を伝えやすい申請書様式を利用してください。）

診断書は、原則として原本をご提出ください。ただし、原本の提出が難しい場合はご相談ください。

提出書類一式は、ご自身にてコピーを取ることをお勧めします。

③　「受験上の配慮・修学上の支援に関する申請書」への文書による回答

「受験上の配慮・修学上の支援に関する申請書」をご提出いただくことにより、本学での対応について具体的な検討を開始します。進路選択の参考になるよう、出願時までに配慮・支援の内容を検討し、入試課から文書によって回答を発送します。内容によっては、出願時までに回答できない場合や、必ずしも希望内容の全てに対応できない場合もありますので、ご了承ください。

④　必要に応じて個別面談

必要に応じて、本学において志願者又はその立場を代弁できる関係者等と直接面談を行います。

⑤　その他

「相談の期限」（（1）事前相談の時期　参照）以降に、受験上の配慮を要する理由が生じた場合は、期限以降でも（3）①の連絡先へご相談ください。また、受験後に修学上の支援について相談したいなどの場合には、（3）②に記載のインクルージョン支援推進室までご相談ください。修学上の支援が必要かどうかの意思確認を行い、必要であればその内容を一緒に考えますので、できるだけ早く連絡することをを推奨します。

（3）　連絡先

①　高知大学学務部入試課

〒780-8520　高知市曙町二丁目５番１号

TEL.088-844-8154　FAX.088-844-8147

②　インクルージョン支援推進室に関する情報ならびに本学の障害者支援について

高知大学学び創造センター学生支援部門　インクルージョン支援推進室

〒780-8520　高知市曙町二丁目５番１号

TEL　088-888-8037

E-mail　shugakushien@kochi-u.ac.jp

URL：https://www.kochi-u.ac.jp/facilities/gakusei-shien/preuniversity_students/resources.html

(参考)

※　受験上の配慮の例

・自家用車での入構、駐車場の使用
・別室受験
・試験室をトイレ又は障害者用トイレの近くに設定
・座席を最前列、最後列、出入り口付近に設定
・介助者の試験室付近までの同伴、介助者控室の準備
・試験時間の延長
・車椅子、松葉杖の使用
・車椅子用机の準備
・補聴器の使用
・注意事項等の文書による伝達
・拡大鏡の使用
・問題冊子、解答用紙の拡大

※　修学上の支援の例（全ての支援を確約するものではありません）

（これまでに高知大学として行った支援の例）

・欠席時の代替課題
・授業内支援（ICレコーダー使用・指示内容視覚化・資料配付・途中退室許可）
・教室環境（換気、教室変更）
・移動支援（別移動手段）
・試験の別室受験・支援機器利用許可
・スケジュール管理サポート
・段差にスロープ設置
・教室に近い場所に送迎車の駐車スペース確保

（想定される支援の例）
・書類提出における介助者代筆許可
・聴覚障害等のある学生へのノートテイクなどの情報保障
・視覚障害のある学生への電子ファイルや点字・拡大資料提供
・リスニングが難しい学生についての他の形態の授業代替
・教育実習、病棟実習等の実習授業における実習施設の事前見学
・授業、講習、行事等での休憩の許可、休憩時間の延長許可

２　奨学金

日本学生支援機構奨学生として選考のうえ、「大学院第一種奨学金」、大学院修士課程段階における「授業料後払い制度」、「大学院第二種奨学金」として貸与される奨学金があります。（留学生は除きます。）

＜問い合わせ先＞高知大学学務部学生支援課経済支援係（電話 088-844-8565）

３　その他

（１）個人情報の取扱いについて

「個人情報の保護に関する法律」に基づき、本学入学者選抜に用いた個人情報については、入学手続、入学者選抜・修学等に係る調査・研究等及び修学に係る用途にのみ使用し、他の目的に利用、又は提供することはありません。

なお、合格者に限り、入学後の修学に係る学生サービス及び卒業後のコミュニティ醸成のために、合格者本人の同意を得たうえで、出願時に提出いただいた「住所票」を理工学部・理学部同窓会・後援会に提供することを御了承願います。

（２）募集要項に関して不明な点は、入試課大学院担当に照会してください。

※郵送による照会は、返信用封筒（定形・速達料分の切手を貼付）を同封してください。

＜問い合わせ先＞

〒780-8520　高知市曙町二丁目５番１号
高知大学学務部入試課大学院担当
（電話 088-844-8154）

高知大学ホームページ
アドレス ： https://www.kochi-u.ac.jp/

プログラムの研究内容の概要　(2026年4月現在)

情報科学・データサイエンス・DX教育プログラム

情報科学・データサイエンス・DX教育プログラムは、データサイエンスを基盤とした教育研究を行うプログラムです。情報システム領域および数理・データサイエンス領域では、数理・データサイエンス・デジタル・DX分野を牽引し、新たな知を創造していく高度情報専門人材を育成します。情報科学および情報工学にわたる幅広い学問分野を、情報システム、数理・データサイエンスの領域に分けて教育研究を行います。複合領域では、情報科学およびデータサイエンスを、理工学の科学・技術分野に利活用し、新たな価値を創造していける高度情報専門人材を育成するための教育研究を行います。得られる学位は、修士（理工学）です。

プログラム	領　域	研　究　内　容	担当教員
情報科学・データサイエンス・DX教育	情報システム	「情報システム」領域では、コンピュータサイエンスおよび情報処理の基盤となる科学技術を扱います。デジタルイメージング、高性能計算、並列分散システム、計算機アーキテクチャ、デジタル回路、光情報工学、に関する教育研究を行います。さらに、実践的な応用として、次世代立体映像、障害者支援、FPGAを利用したIoTデバイス開発などの教育研究を行います。	BOAZ JESSIE JACKIN 髙田　直樹 森　雄一郎 老川　　稔 芝　治也 塩見　日隆
	数理・データサイエンス	「数理・データサイエンス」領域では、数理情報学、データサイエンス、ソフトウェア科学を扱います。知能ソフトウェア、ネットワークアプリケーション、機械学習、強化学習、自然言語処理、神経情報科学、アルゴリズム、数理論理学、離散数学に関する教育研究を行います。さらに、実践的な応用として、脳神経科学に関する教育研究やプレゼンテーション・リハーサル支援システム、ソーシャルネットワークなどの教育研究を行います。	岡本　　竜 三好　康夫 木脇　太一 阪口　昌彦 鈴木　一弘 河井　達治 續木　大介
	複合	理学・工学の多様な分野（数学、物理科学、生物科学、化学生命理工学、地球環境防災学）において、情報科学およびデータサイエンスを利用した複合領域分野について教育研究を行います。	杉山　　成 野村　　昇 石黒　克也 祖谷　　元 張　　鑫 長谷川　精 比嘉　基紀 加藤　元海 坂本　　淳 斎藤　卓也

授 業 科 目 表

（情報科学・データサイエンス・DX教育プログラム）

○＝選択必修科目
◎＝必修科目
△＝社会人必修科目

※2026年４月現在

科目区分	授 業 科 目	単位数
研究科共通	リサーチプロポーザル	◎2
専攻共通	理工学特論Ⅰ	◎1
	(SRU×地域)DX特論	◎1
	情報科学・データサイエンス序論	△1
コア科目群	機械学習特論I	○2
	機械学習特論II	○2
	深層学習特論	○2
	画像分析特論	○2
周辺科目群	バイオインフォマティクス特論	○2
	シミュレーション特論	○2
	マルチメディア工学特論	○2
	統計数理学特論	○2
	統計モデル論特論	○2
	計算機物理学特論	○2
	量子場物理学特論	○2
	数理生態学特論	○2
	保全生態学特論	○2
	構造生物化学特論	○2
	都市計画学特論	○2
	風工学特論	○2
	相対論的天体物理学特論	○2
	気候システム学特論	○2
ゼミナール	IDD教育プログラムゼミナールI	◎2
	IDD教育プログラムゼミナールII	◎2
情報システム領域	高性能コンピューティング特論	2
	並列分散システム特論	2
	デジタルイメージング特論	2
	計算機アーキテクチャ特論	2
	デジタル回路特論	2
	光情報工学特論	2
	集積回路設計特論	2
数理・データサイエンス領域	知能ソフトウェア特論	2
	ネットワークアプリケーション特論	2
	神経情報科学特論	2
	知能システム工学特論	2
	離散数学特論	2
	数理論理学特論	2
	自然言語処理特論	2
	強化学習特論	2
	データベース論特論	2

科目区分	授 業 科 目	単位数
複合領域（数学系）	大域解析学特論	2
	微分方程式特論	2
	力学系特論	2
	関数論特論	2
	幾何学特論	2
	応用幾何学特論	2
	位相幾何学特論	2
	ホモトピー論特論	2
	代数学特論	2
	代数幾何学特論	2
	抽象代数学特論	2
	応用代数学特論	2
	応用確率論特論	2
	確率過程特論	2
複合領域（物理系）	応用電磁気学特論	2
	量子多体系物理学特論	2
	統計力学特論	2
	磁性物理学特論	2
	遷移金属酸化物物性特論	2
	無機材料科学特論	2
	現代物性科学特論	2
	物性実験特論	2
複合領域（生物科学系）	植物系統分類学特論	2
	植物生態学特論	2
	細胞生理学特論	2
	細胞微細形態学特論	2
	動物生理学特論	2
	魚類形態学特論	2
	魚類分類学特論	2
	海洋生態学特論	2
	進化古生態学特論	2
	堆積地質学特論	2
	分子古生物学特論	2
	比較生化学特論	2
	種子植物分類学特論	2
	有用植物学特論	2
複合領域（化学生命理工学系）	生体分子化学特論	2
	機能物質化学特論	2
	配位化学特論	2
	溶液反応化学特論	2
	機能材料化学特論	2
	錯体化学特論	2
	触媒化学特論	2
	有機金属化学特論	2
	有機構造物性化学特論	2
	光物質変換化学特論	2
	超分子化学特論	2
	生化学特論	2
	細胞分子工学特論	2
	発生生物学特論	2
	有機合成化学特論	2
	遺伝子工学特論	2
	固体分析化学特論	2

科目区分	授 業 科 目	単位数
複合領域（地球環境防災学系）	地殻変動学特論	2
	乱流物理学特論	2
	付加体物性学特論	2
	鉱物学特論	2
	地震地質学特論	2
	地震テクトニクス特論	2
	火成岩岩石学特論	2
	降水気象学特論	2
	地質構造解析特論	2
	古海洋学特論	2
	地球惑星電磁気学特論	2
	地史・古生物学特論	2
	海底地質構造学特論	2
	海底物理探査学特論	2
	実験岩石物性学特論	2
	微古生物学特論	2
	斜面防災工学特論	2
	構造工学特論	2
	地盤工学特論	2
	耐震工学特論	2
	水理学特論	2
	木質構造学特論	2
特別研究	理工学特別研究	◎8

修了要件及び学位

本専攻の修了要件は、原則として２年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文を提出して、その審査及び最終試験に合格することです。

在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、１年以上在学すれば足りるものとします。

情報科学・データサイエンス・DX教育プログラム修了者には修士（理工学）の学位が授与されます。

長期履修学生制度について

理工学専攻では、職業を有している等の事情で履修可能な授業単位数や研究指導を受ける時間が制約され、標準修業年限の２年では十分な研究時間が確保できない、また、２年を超えてしまっては授業料が余分にかかり、経済的に負担になるという方のために、標準修業年限の２年を超え、２年６か月～４年間（学期の区分に従い６か月単位）での計画的な履修を可能とした長期履修学生制度を実施しています。

この制度により、授業料は標準修業年限の２年間で支払うべき総額を、計画的な履修を認められた期間内で均等に分割して支払うこととなります。

また、この制度は入学後の事情の急変（就職、転勤等）にも対応し、事情によっては、長期履修期間の変更（短縮、再延長）を認められることもあります。

この制度の適用を希望する場合には、入学手続書類とともに送付される申請書類により定められた期限までに申し込んでください。

社会人に対する授業時間等の特例

（1）授業科目は、原則として、特別の授業時間帯に履修するものとします。

（2）授業担当教員と受講する社会人学生の勤務状況や研究・教育の内容によっては、十分な配慮のもとで、授業時間をその他の時間帯（夏季・冬季休業期間等）に設定することがあります。

（3）勤務の都合がつく場合は、通常（昼間）の時間帯の履修を認めます。

教育職員免許状

中学校教諭一種免許状又は高等学校教諭一種免許状［数学、理科又は情報のいずれかの教科］を有し、かつ当該教科に該当するコース・プログラムにおいて所定の単位を修得した者は、次の免許状を取得することができます。

理　工　学　専　攻	中学校教諭専修免許状（数学）、高等学校教諭専修免許状（数学） 中学校教諭専修免許状（理科）、高等学校教諭専修免許状（理科） 高等学校教諭専修免許状（情報）

教員免許取得を目的とする科目等履修生に対する特例措置について

大学院で学びながら、一種免許状の取得が可能です。

【科目等履修生として免許取得に必要な学部の授業を履修できます。諸費用(検定料・入学料・授業料)は必要ありません。】

総合人間自然科学研究科（修士課程・専門職学位課程）では、「教員免許取得を目的とする科目等履修生に対する特例措置」を実施しています。

この特例措置は、学部在学時等に修得単位不足で教員免許が取得できなかった者や、学部在学時には免許取得を希望していなかったが大学院に入学し新たに教員免許を取得しようとする者が、学部の科目等履修生として入学し、大学院の教育課程と並行して学部の授業（教員免許取得に必要な科目に限る）を履修することを可能とするものです。履修に要する費用（検定料・入学料・授業料）は徴収しないこととなっています。（ただし、教材費等は別途必要）

また、大学院における学修で必要な単位を修得することによって、大学院修了時には専修免許状を取得することができます。（スポーツ・芸術文化共創専攻は除く。）なお、２年間で大学院の教育課程及び一種免許状取得のための必要単位修得が困難であると考えられる場合は、長期履修学生制度を活用することも可能です。（長期履修学生制度については、P.11「長期履修学生制度について」をご覧ください。）

※ 授業は、学部の通常授業及び集中講義の科目を受講することになります。
夜間開講等の特別な対応は、予定しておりません。

※ いわゆる「こども性暴力防止法」が2026年12月25日に施行されることに伴い、教育実習等を履修する際には特定性犯罪前科の有無の確認が求められることがあります。
特定性犯罪前科がある場合、教育実習等を履修することができず、教育職員免許状を取得できません。

【取得できる免許】

原則として、入学（所属）する専攻の基礎学部において取得可能な免許（教科）に限ります。

所属専攻	基礎学部	取得できる免許状
人文社会科学専攻	人文社会科学部	中学校教諭（国語・社会・英語）
		高等学校教諭（国語・地理歴史・公民・商業・英語）
理工学専攻	理工学部	中学校教諭（数学・理科）
		高等学校教諭（数学・理科・情報）
看護学専攻	医学部	養護教諭
農林海洋科学専攻	農林海洋科学部	中学校教諭（理科）
		高等学校教諭（理科・農業・水産）
スポーツ・芸術文化共創専攻		中学校教諭（音楽・美術・保健体育）
		高等学校教諭（音楽・美術・保健体育）
教職実践高度化専攻		幼稚園教諭
		小学校教諭
		中学校教諭(国語・社会・数学・理科・音楽・美術・保健体育・技術・家庭・英語)
		高等学校教諭（国語・地理歴史・公民・数学・理科・音楽・美術・保健体育・家庭・情報・英語）

※取得できるのは、原則として、１つの免許状に限る。ただし、同一教科であれば、中学校教諭と高等学校教諭の２つを取得することは可能。（例：中学校(国語)と高校(国語)、中学校(社会)と高校(地理歴史)）

【申請手続き】

『入学者の手引』送付時に、「教員免許取得を目的とする科目等履修生に対する特例措置」についての詳細案内を同封します。申請期限・提出書類等をご確認の上、手続きを行ってください。

試 験 場 案 内

試験場：高知大学朝倉キャンパス　（高知市曙町二丁目5番1号）

〔交通アクセス〕

①　ＪＲで来られる方へ

ＪＲ朝倉駅	徒歩（約5分）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・▶	高知大学（朝倉キャンパス）
ＪＲ 高知駅	路面電車（とさでん交通、以下、省略）「高知駅前」電停で乗車（約5分）、 「はりまや橋」電停で下車、以下のⒶ・Ⓑ・Ⓒへ乗り換え	

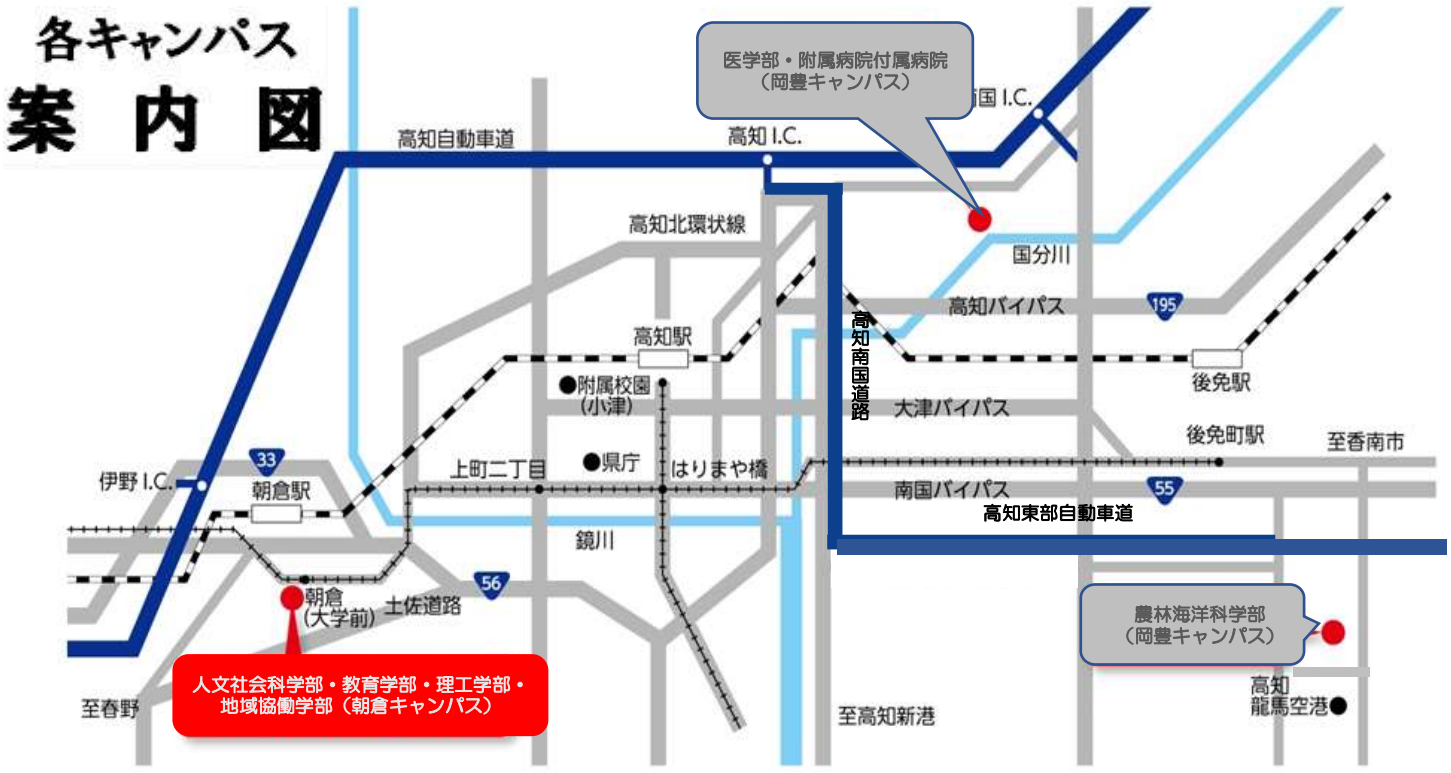
②　航空機で来られる方へ

空港連絡バス	「高知龍馬空港」で乗車（約 30 分）、「はりまや橋」で下車、以下のⒶ・Ⓑ・Ⓒへ乗り換え

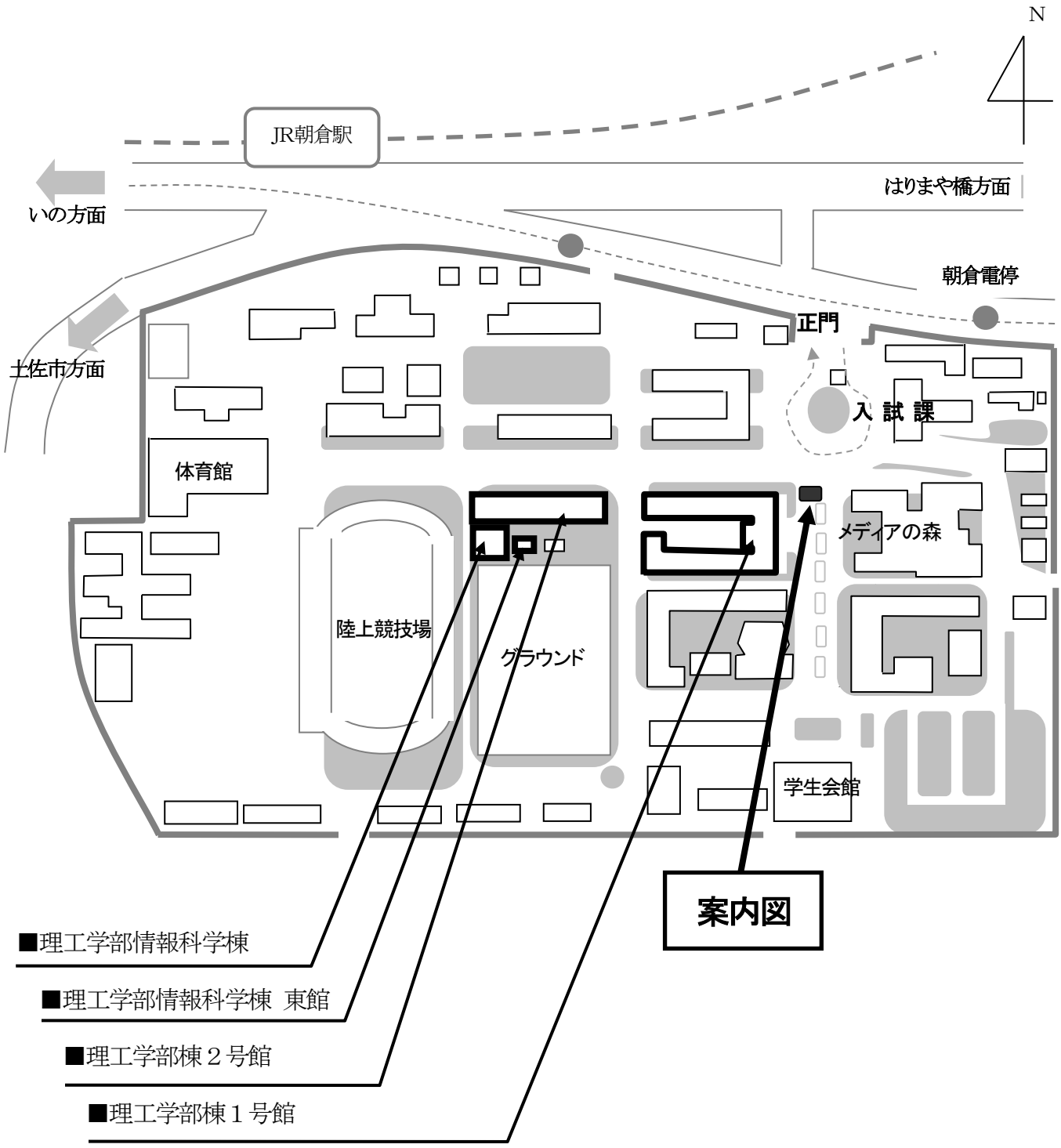
【乗り換え】高知市内中心部より

Ⓐ路面電車 「はりまや橋」電停	「朝倉（高知大学前）」・「いの」行きに乗車（「鏡川橋」経由）（約 30 分）、 「朝倉（高知大学前）」下車・・・▶	高知大学（朝倉キャンパス）
Ⓑとさでん交通バス 「堺町」バス停	「高岡」・「天王ニュータウン」（いずれも朝倉駅経由）方面行きに乗車（約 25 分）、「朝倉（高知大学前）」下車・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・▶	
Ⓒ県交北部交通バス 「堺町」バス停	「長沢」・「土居」（いずれも朝倉駅経由）方面行きに乗車（約 25 分）、 「朝倉（高知大学前）」下車・・・▶	

※発着時刻・料金は、時刻表などでご確認ください。



高知大学朝倉キャンパス平面図



※試験当日は「案内図」をご覧ください。